

2008年度中間決算概要

(2008年1月1日 ~ 6月30日)

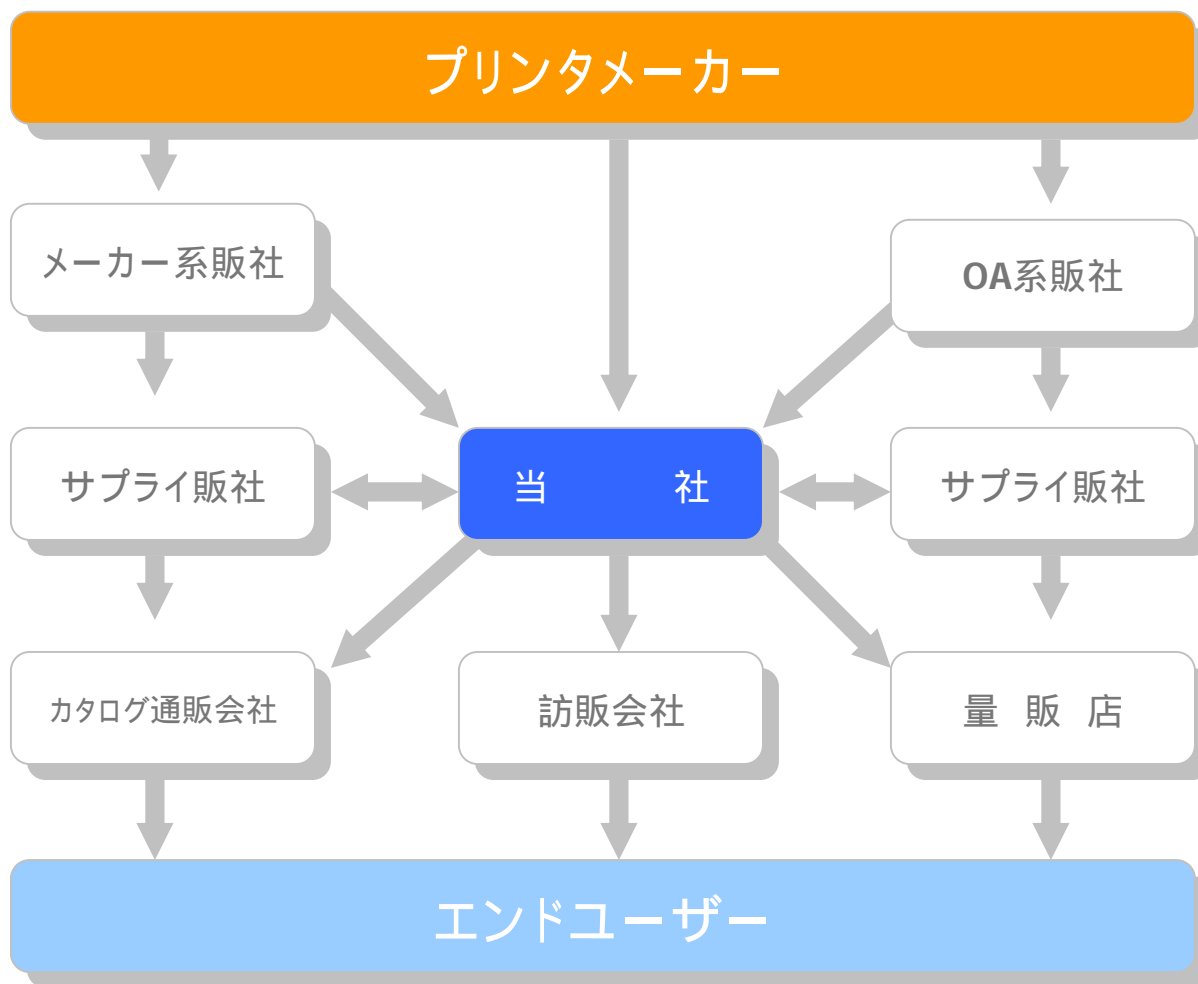
2008年8月13日
ハイブリッド・サービス株式会社

目次

- ・ 2008年12月中間期の市場動向
- ・ 2008年12月中間期レビュー
- ・ 2008年12月通期計画
- ・ 今後の事業戦略

・ 2008年12月中間期の市場動向

2008年12月中間期の市場動向 >> 商流



プリンタメーカーは傾向として、プリンタ本体を販売している卸販社向きになっており、サプライを主に扱っている卸・販売会社へは条件が厳しくなりつつある。海外では、汎用品・輸入純正品のルート確保や数量確保が厳しくなりつつある。

カタログ通販系はグリーン購入法の影響を受けてリサイクルトナーの販売を強化している。カタログ通販顧客のニーズもエコ嗜好が強まり、リサイクルトナーの売上比率も高まっている。

訪販会社系は、ここ数年来、カタログ通販に離反した顧客の奪還策として、営業担当者が「足で稼ぐ」旧来の営業スタイルの徹底により、トナーカートリッジ販売においてはカタログ系販社と比較して徐々に伸長する傾向が見られる。

量販店系は、店頭販売による消費者のみならず、法人ユーザーへの販売に着手し、訪問販売やネット販売により、法人ユーザーへのトナーカートリッジの販売を開始。新たな販路として消費者依存体質から脱却を図っている。

Hybrid Service 2008

2008年12月中間期の市場動向 >> 商材

PC

低価格化の流れを受け、コンシューマ、法人需要ともに微増。
WindowsXPへのダウングレード権をつけるという販売方針をPC
メーカーが表明したことで法人需要を活性化した。

モノクロ
レーザ
プリンタ

下支えする基幹向けシステム商談が安定して発生していたこと、
企業ユーザーが無理をしてカラー化をしなかった為結果的にモノ
クロ需要が底堅かったことの2点が挙げられる。

カラー
レーザ
プリンタ

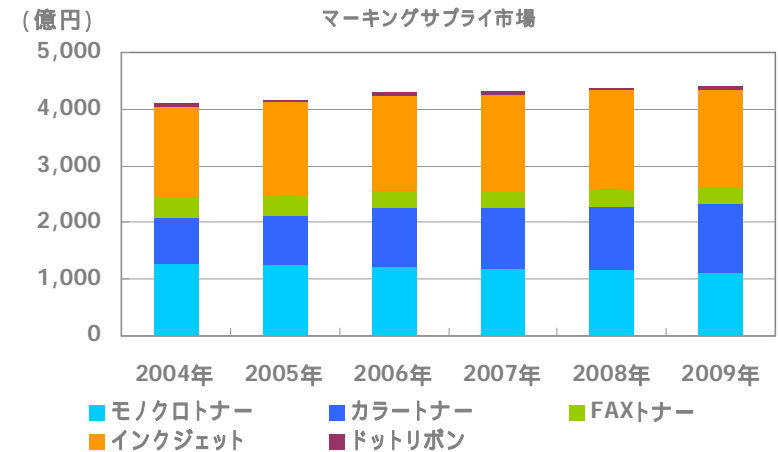
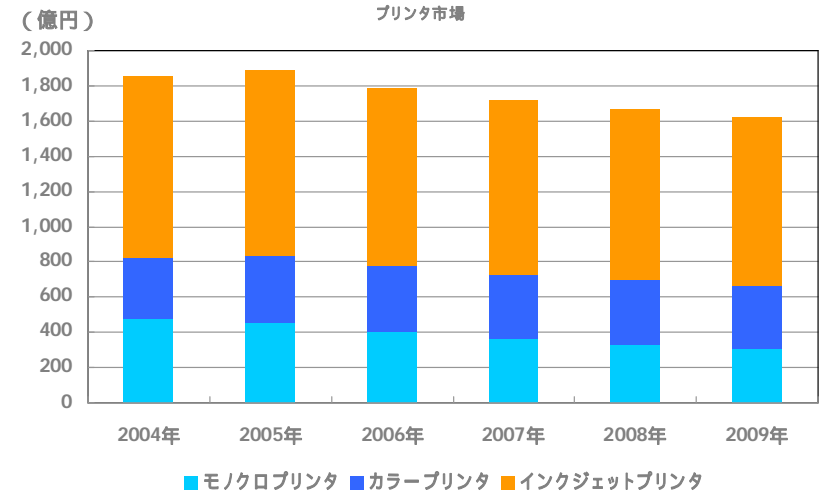
モノクロからの買い替え需要が一巡し、何とか横ばいで推移し
ているものの、1月～3月の貯金によるものであり、4月以降
はマイナストレンドと言える。

モノクロ
トナー
カートリッジ

モノクロプリンタ本体が堅調に推移したこともあり、微減傾向
にあるものの、モノクロプリンタの稼働台数の減少度合いは緩
やかな傾向となり、今後もこの傾向は続いていくものと考えら
れる。

カラー
トナー
カートリッジ

モノクロからの買い替え需要が一巡したものの、カラープリン
タ稼働台数はまだ増加傾向であることから、対前年同期比は1
桁の伸長となった。とは言え稼働台数も今後は横ばい傾向に近
づき、緩やかな伸長に移行していくと考えられる。



資料の出所: BNS株式会社より

. 2008年12月中間期レビュー

決算サマリー(連結)

>>損益計算書>>要旨

(単位:百万円)

	2008年中間期 実績	2008年中間期 当初計画	計画比	2007年中間期 実績
売上高	10,585	10,757	98.4%	12,232
マーケティングサプライ事業	10,067	10,227	98.4%	-
その他の事業	542	625	86.7%	-
売上総利益	863	890	97.0%	986
販売管理費	891	875	101.8%	960
貸倒引当金	89	2	4,450.0%	-
営業利益	28	15	-	26
経常利益	55	24	-	10
特別損益	103	0	-	26
当期純利益	139	38	-	35

マーケティングサプライ事業は、ハイブリッド単独で顧客ごとの見直しを徹底し、利益重視の販売戦略を推進したことにより売上高は計画を下回る結果となった。

その他事業は、国内では、ラベリング用品の販売は順調なものの、新規商材の導入の遅れにより売上高は計画を下回り、海外では昨年度設立した海伯力香港の事業立上げの遅れにより売上高は計画を下回る結果となった。

当中間連結会計期間から事業の種類別セグメント情報を開示しているため、前年同期実績については記載していません。

決算サマリー(連結)

>>貸借対照表>>要旨

(単位:百万円)

		前中間期	前期末	今中間期	増減			前中間期	前期末	今中間期	増減
資 産 の 部	流動資産					負 債 の 部	流動負債				
	現金・預金	1,546	2,516	1,584	932		支払手形 買掛金	2,552	2,778	2,232	546
	売掛金 受取手形	4,142	3,759	3,145	614		短期借入金 (1年以内返済予定 長期借入金含む)	908	908	2,507	1,599
	貸倒引当金	181	16	34	18		その他流動負債	247	425	186	239
	たな卸資産	2,164	1,653	2,237	584		固定負債				
	その他	319	325	197	128		長期借入金	2,708	2,704	1,100	1,604
流動資産合計	7,992	8,239	7,131	1,108	退職給付引当金	24	26	26	0		
固 定 資 産 の 部	有形固定資産	86	81	76	5	その他	281	13	10	3	
	無形固定資産	236	88	75	13	負債合計	6,722	6,856	6,063	793	
	投資有価証券 その他	627	482	750	268	株主資本					
	貸倒引当金	55	55	126	71	資本金 資本剰余金	995	995	995	0	
	投資損失引当金	0	0	100	100	自己株式	349	349	349	0	
	固定資産合計	894	597	676	79	利益剰余金	1,388	1,299	1,105	194	
資産合計	8,887	8,836	7,807	1,029	評価・換算差額等	130	34	7	41		
					純資産合計	2,164	1,979	1,744	235		
					負債純資産合計	8,887	8,836	7,807	1,029		

Hybrid Service 2008

決算サマリー(単独)

>>損益計算書>>要旨

(単位:百万円)

	2008年中間期 実績	2008年中間期 当初計画	計画比	2007年中間期 実績
売上高	10,064	10,224	98.4%	11,833
モノクロナー	3,678	3,784	97.2%	4,401
カラートナー	2,929	3,113	94.1%	3,655
インクジェットカートリッジ	2,257	2,231	101.2%	2,573
MRO・その他	1,198	1,094	109.5%	1,203
売上総利益	744	750	99.2%	887
販売管理費	777	731	106.3%	856
貸倒引当金	89	2	4,450.0%	
営業利益	32	18	-	31
経常利益	41	1	-	49
特別損益	102	0	-	25
当期純利益	113	4	-	15

安価販売を回避し、利益重視の販売戦略を推進した結果、売上計画には未達であったものの、売上総利益率はわずかながら計画を上回る実績となった。

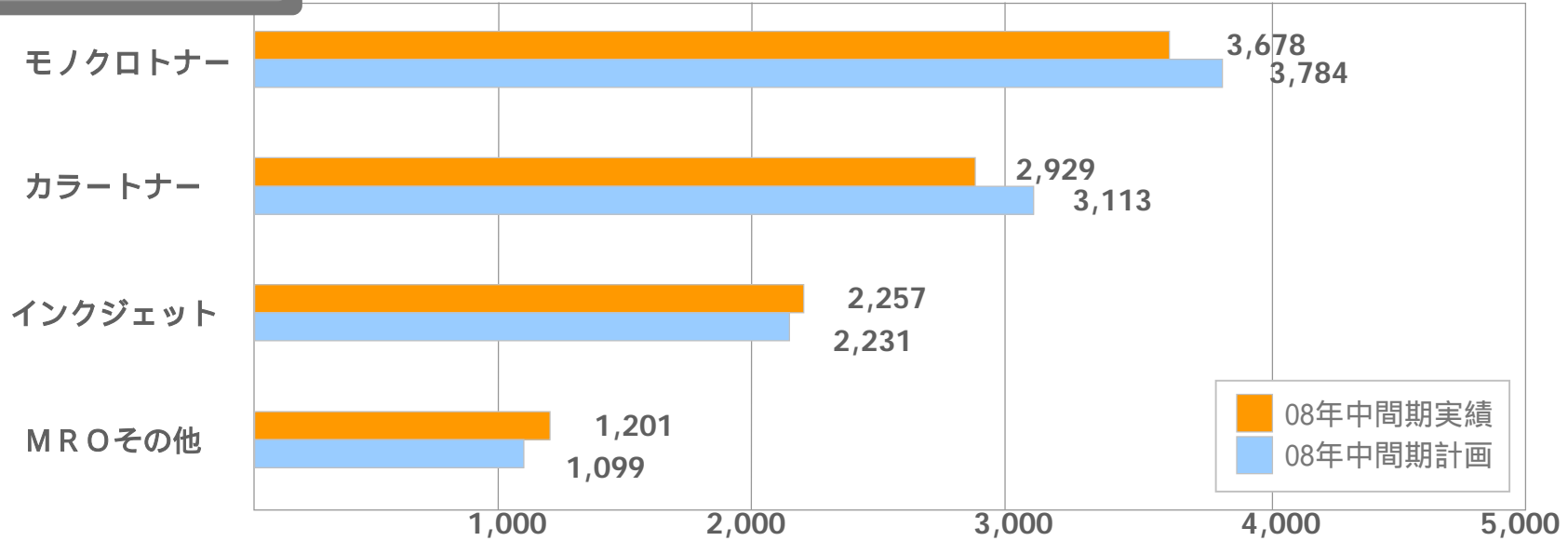
従来以上にローコストオペレーションを推進したことにより、コスト削減の効果が見られるが、会計処理面において、取引先の個別の財政状態及び経営成績について、保守的に再度見直しを行い、一部の営業債権において貸倒引当金を計上した。また、投資有価証券(匿名組合出資金:不動産ファンド)の評価の見直しを行い、投資損失引当金を特別損失として計上した。

事業別売上高

>>08年計画 ~ 08年実績

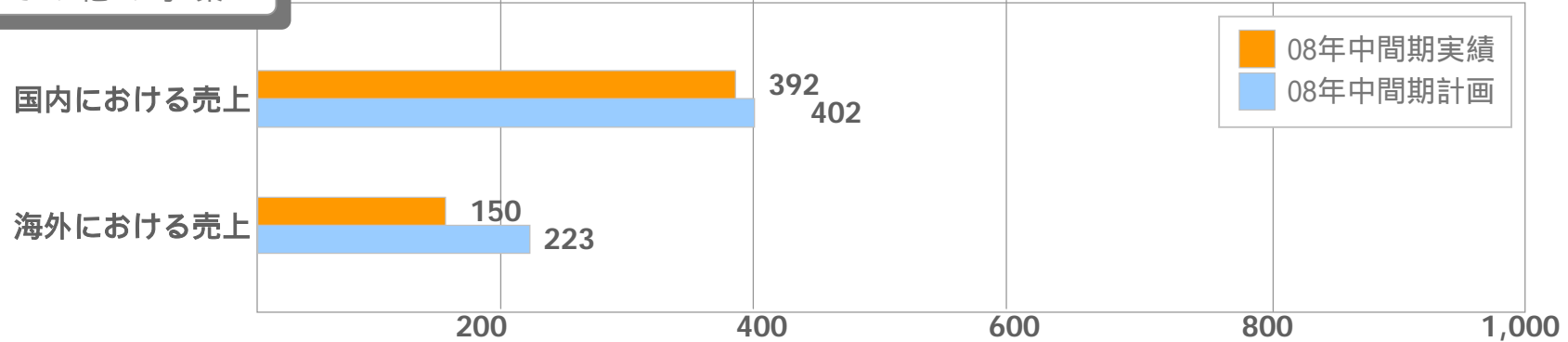
マーキングサプライ事業

(単位：百万円)

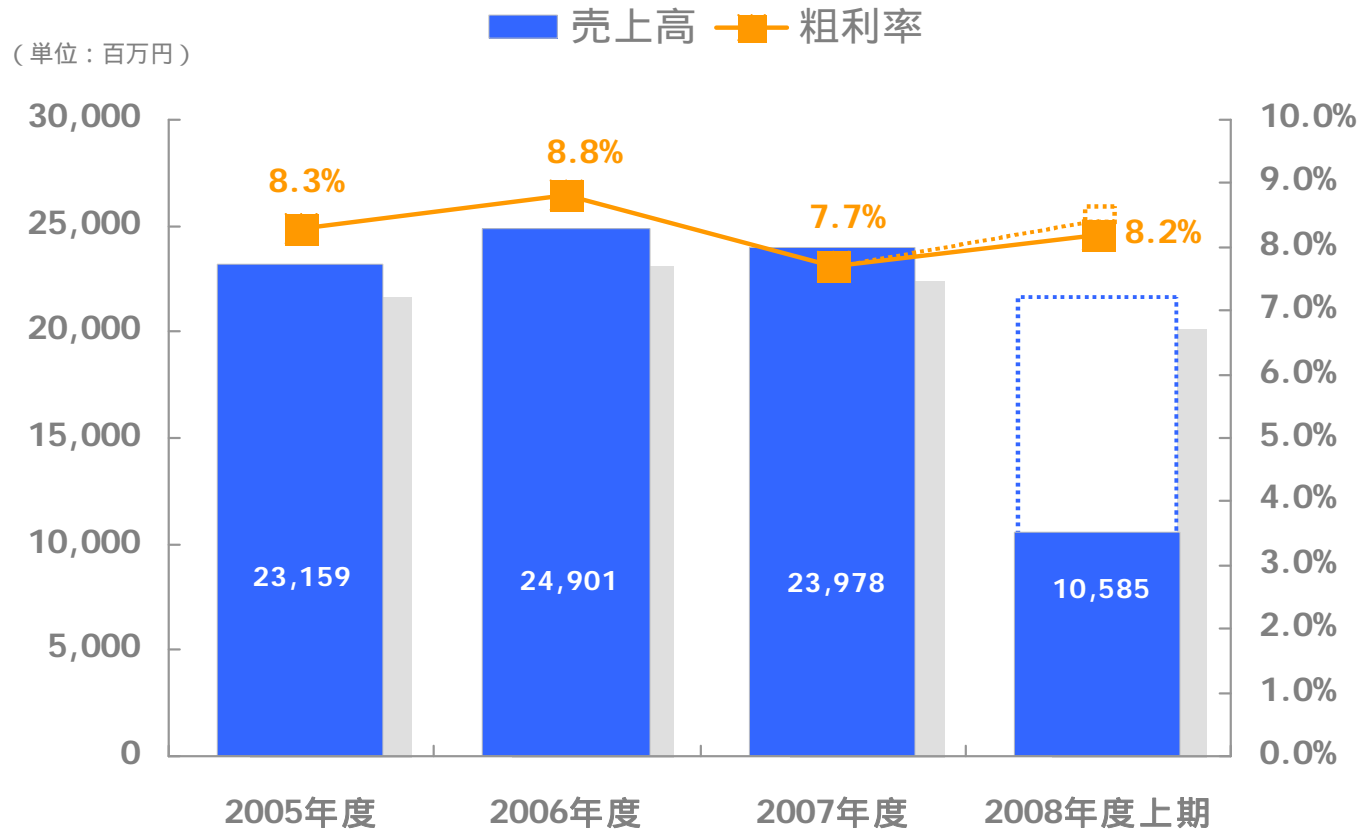


その他の事業

(単位：百万円)



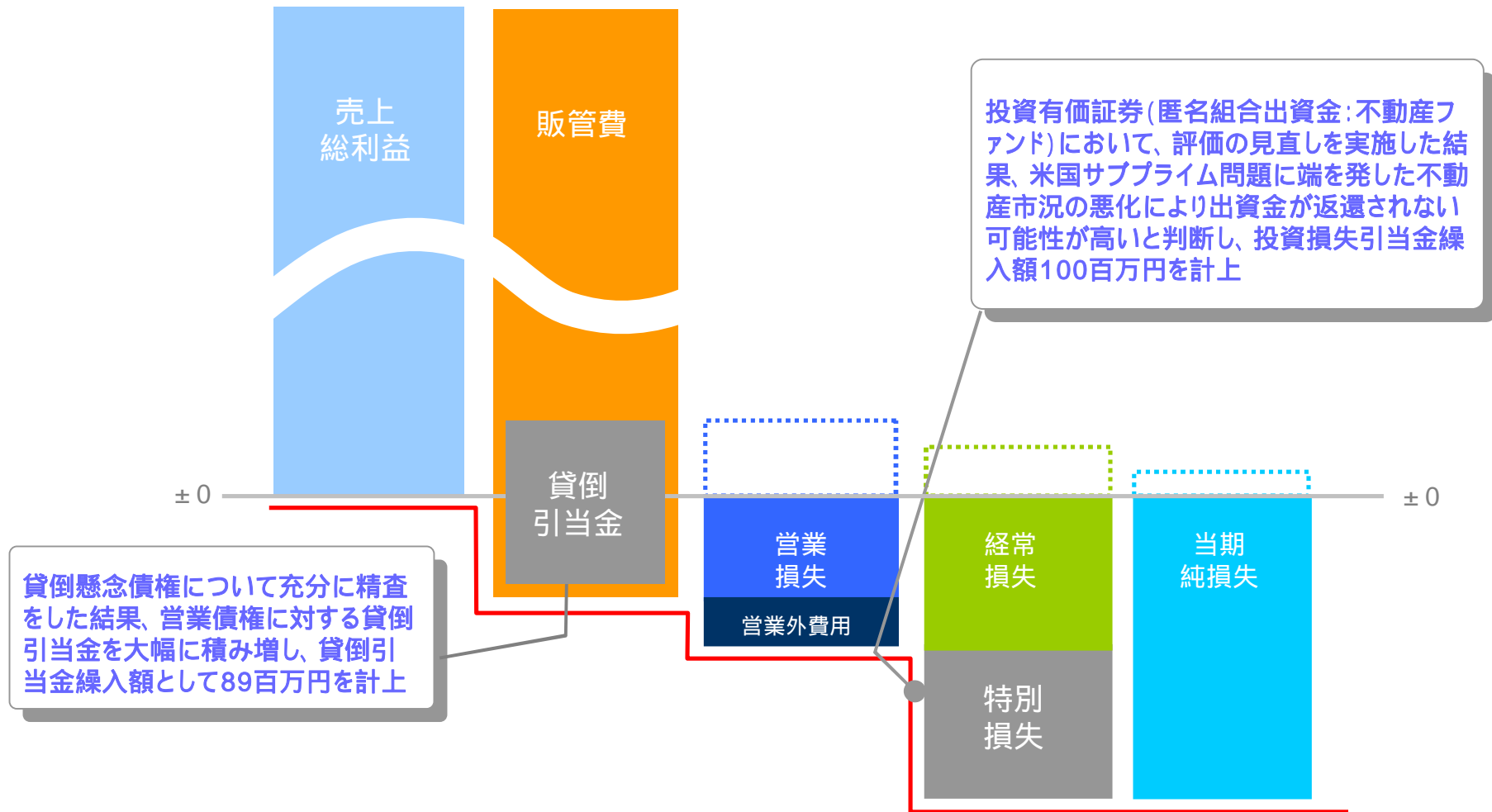
売上高及び粗利率の推移



ハイブリッド単独での利益重視への販売戦略の転換により売上高は減少したものの、子会社の健闘含め粗利率は改善傾向へ

特殊要因

>>貸倒引当金・投資損失引当金の計上



2008年12月中間期の取組み

>>新商材

M R O 商 材

オフィスに限らず、工場・作業現場、医療現場などで使用する様々な消耗品

量販店向け商材

店頭販売向け商材として、SDカード、マイクロSDカード、USBメモリなどPC周りの商材

>>新サービス

発注管理ASP

販社が在庫レスの販売に特化できる、発注管理ASPサービスの開発

>>新規開拓

地方の強化

東京、大阪など大都市圏から、競争の比較的厳しくない地方都市への新規開拓ターゲットのシフト

異業種開拓

従来の事務機商からホームセンター、量販店、給茶機ベンダー等の異業種へ新たな販路を開拓

>>親会社 との取組み

販路拡大

既存ルート（通販・訪販・量販）に加えFTCグループ各社ならびにFTC競合会社へのプリンタ等ハードウェアの拡販（新商材の提供）

新商材発掘

FTCグループ各社が抱える豊富なユーザーからの顧客ニーズの収集を通じて新商材の発掘に結びつける（例）定期的な情報連絡会の実施など

. 2008年12月通期計画

2008年度 通期(連結)業績計画

(単位：百万円)

	2008年12月期 上期実績	2008年12月期 下期計画	2008年12月期 通期計画	2007年12月期 通期実績	前年同期比
売上高	10,585	11,837	22,423	23,978	93.5%
マーケティングサブライ事業	10,067	11,306	21,575	-	-
その他の事業	542	866	1,373	-	-
売上総利益	863	1,013	1,877	1,834	102.3%
販売管理費	891	895	1,787	1,724	103.7%
貸倒引当金	89	0	89	0	-
営業利益	28	117	89	110	80.9%
経常利益	55	97	42	48	87.5%
特別損益	103	0	103	27	-
当期純利益	139	64	75	96	-

当中間連結会計期間から事業の種類別セグメント情報を開示しているため、前年同期実績については記載しておりません。

2008年度 通期(単独)業績計画

(単位：百万円)

	2008年12月期 上期実績	2008年12月期 下期計画	2008年12月期 通期計画	2007年12月期 通期実績	前年同期比
売上高	10,064	11,135	21,200	23,094	91.8%
モノクロトナー	3,678	3,941	7,620	8,304	91.8%
カラートナー	2,929	3,022	5,952	6,709	88.7%
インクジェットカートリッジ	2,257	2,936	5,194	5,605	92.7%
その他	1,198	1,234	2,432	2,475	98.3%
売上総利益	744	825	1,570	1,620	96.9%
販売管理費	777	740	1,517	1,489	101.9%
貸倒引当金	89	0	89	0	-
営業利益	32	85	53	130	40.8%
経常利益	41	53	11	125	8.8%
特別損益	102	0	102	144	-
当期純利益	113	31	82	100	-

・ 今後の事業戦略

事業ドメイン・基本戦略

事業ドメイン

MRO商材を中心としたオフィスニーズに
対応するソリューションカンパニーの実現！

基本戦略

◆成長の実現

マーキングサプライ市場からMRO商材を中心としたオフィス用品市場へ事業領域を拡大

◆商社機能の充実

MRO商材を中心としたオフィス用品の総合商社への進化

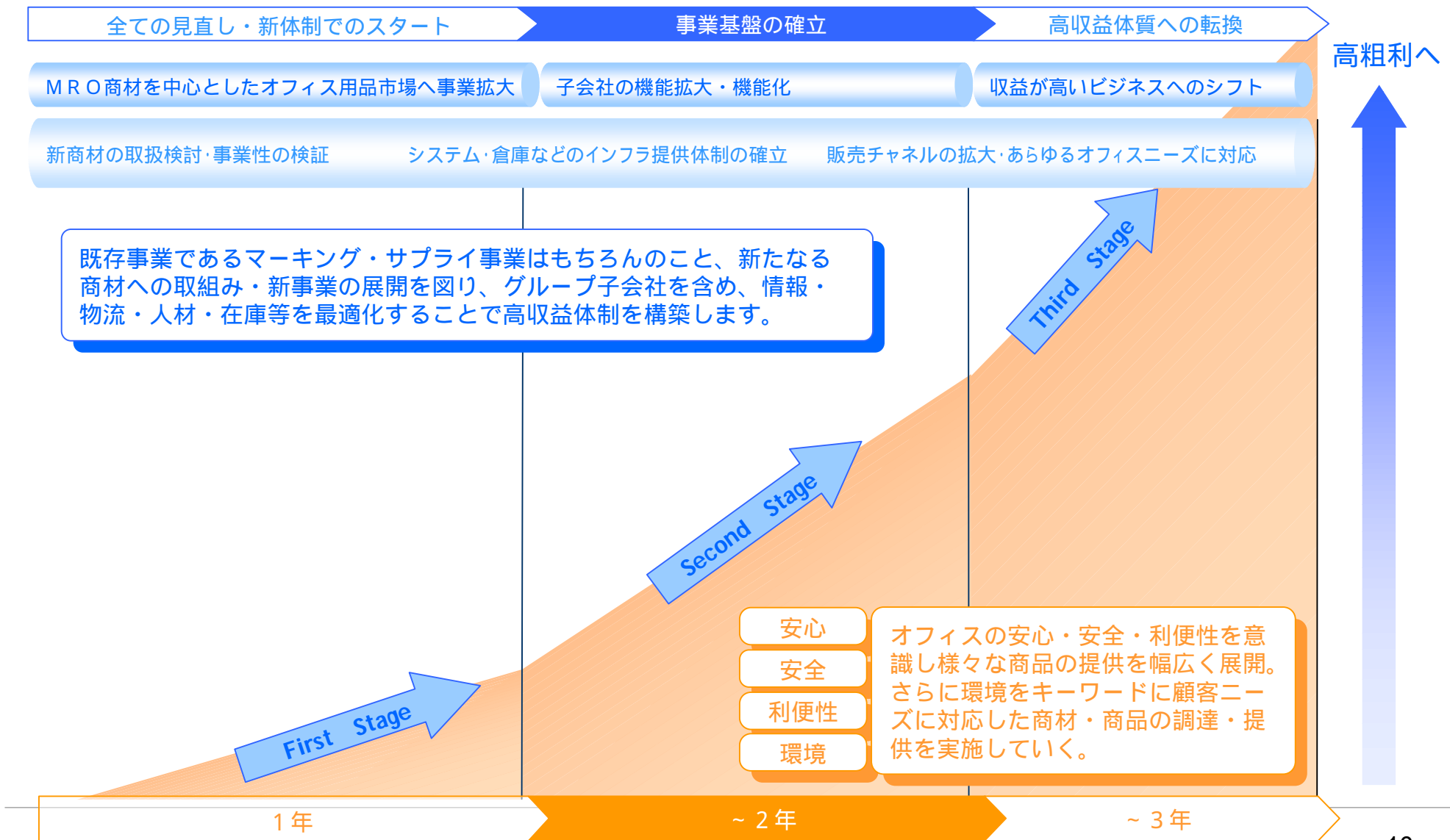
◆収益力の強化

中国子会社含めたグローバルネットワーク体制の構築により、仕入力・商品開発力を強化



Hybrid Service 2008

ロードマップ (2008年12月期 ~ 2010年12月期)



Hybrid Service 2008

I R 窓 口

>>所在地

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2丁目2番地 共同ビル5F

担当:経営企画部

Tel : 03-3512-2813

Fax : 03-3262-6299

Mail : ir@hbd.co.jp

注意事項

- ・この資料には、ハイブリッド・サービスの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込です。
- ・また経済動向、市場需要、為替変動、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も含んでおります。実際の業績は当社の見込とは異なることもあります。